

## 御嶽山シンポジウムに参加しました(12月16日、17日)

令和4年12月16, 17日の2日間にわたって、木曽町にて**御嶽山シンポジウム「御嶽山・箱根山・草津白根山－水蒸気噴火および防災と観光－」**が開催されました(WEB聴講あり)。

1日目:水蒸気噴火に関する学術シンポジウム、2日目:活火山の防災と観光に関するシンポジウム  
このシンポジウムは、上記3つの火山の水蒸気噴火を振り返り、火山の地元の住民と行政、研究者が、火山防災への取組と課題を共有して、活火山と共生する地域づくりを考えることを目的としています。



1日目は、多治見砂防の御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画の委員をつとめる先生方の発表がありました。



産業技術総合研究所



2日目の総合討論で、古くから信仰の山であり、地元では「おやま」と親しまれる御嶽山の魅力について語る原町長。

御嶽山と同じく観光地であり、ともに水蒸気噴火を経験した草津白根山、箱根山の、火山を正しく恐れながら、安全な観光を目指す取組には、地元と研究機関との密な協力・連携があったことを知り、関係機関の苦労を思いました。

開催日時  
12月16日(日) 13:00~18:00  
水蒸気噴火に関する学術シンポジウム  
水蒸気噴火の理解 -現状と課題-

御嶽山・箱根山・草津白根山　—水蒸気噴火および防災と觀光—  
御嶽山　(2004.1.1～)、箱根山　(2004.5～)、草津白根山　(2004.8～)　で発生した水蒸気噴火を振り返り、  
火山活動への理解を深め、活火山と共に生きる地域へより接近する。  
自ら行動していきたいひとを励ます。